

# シルバー 安全だより

第4号

平成6年1月1日  
(社)日向市シルバー人材センター  
安全管理委員会

## 仕事の達人になろう

達人は云いました「自分は怪我をしない、と信念をもって仕事に取り組めます。自分の安全と共に、他人の安全にも気を配ります」……という心構えで、毎朝仕事に出かけるそうです。

そして、出かける前にさりげなく、仕事の基本姿勢をチェックしているそうです。以下そのチェックポイントの一部を紹介します。

### 1. 心構え……仕事に立ち向う姿勢です。

「怪我をしない、事故は起こさないとの信念をもち、同僚・チームの安全にも気を配ります。ルール・指示には従います」

### 2. 服装

「正しく着用し、清潔にする。作業服のポケットには刃物・マッチ類は入れないこと、シャツはズボンの内側に入れ、ボタンはきちっとかけるぞ」

### 3. 行動

「手をポケットに入れず、階段を昇降するときはよそ見せず、足もとをしっかりと見よう。共同作業は合図・連絡を密にして申し送り・報告は確実にする」

### 4. 整理・整頓

「自分の持ち場は自分で確認し、整理するぞ。後始末は区切りがついた時に確実にやるぞ…」等を一瞬のうちにチェックし胸を張り、目をかがやかして出かけるそうです。皆さんも、仕事の達人になりませんか。……もうなってますか？

安全管理委員長 高橋 彰一郎

## 平成5年度事業計画の活動報告

### 1. 安全意識・高揚の活動

- ①月別実施重点事項の周知徹底……チラシをつくり、作業日報にも
- ②高齢者交通安全5則・安全運転5則の継続……安全の日に唱和を
- ③安全標語・川柳の募集……標語69点、川柳75点の応募がありました。
- ④安全講話・交通安全教室の開催……未実施

### 2. 安全パトロールの実施

夏季・屋外作業……8/5 日向市ひまわり寮、米の山観光道路他  
冬季・屋内作業……12/8 南海旭(株)・宮崎絨氈(株)を実施

### 3. 「シルバー安全だより」の発行

《10月号》では「安全パトロール、標語・川柳入選作等」等の記事を  
《1月号》では「安全パトロー(屋内)、奉仕作業等」等の記事を

### 4. 一呼吸運動

交差点付近・横断歩道・バス停付近、通路の出・人口付近、階段等で、一呼吸する。  
月別実施重点事項に生かす。目で見て、声を出し、体で確認する。

### 5. その他

「安全就業推進員」が誕生。安全就業対策活動が認められ、活動に巾が出ました。

# 12/8 南海旭(株)・宮崎絨氈(株)へ安全パトロール!

今回は事業所(屋内作業)の巡回ということで、南海旭(株)、門川町の宮崎絨氈(株)を訪問させていただきましたが、日常の安全活動では細心の注意をはらっており、今後の安全管理委員会活動に多いに参考になる点がありました。

安全就業推進員 藤田辰巳



## 〈村中久三郎委員〉

会社側の会員に対する安全作業について、親切な指導が実施され事故のないよう配慮されているようでした。会員の皆様も元気に就業していました。今後も健康管理を万全に頑張ってください。

## 〈河野利秋副委員長〉

掲示板設置・指導方法など勉強になりました。

## 〈藤田辰巳委員〉

宮崎絨氈(株)のカービングの仕事は技術のいる仕事で感心しました。

## 10/1の奉仕作業に参加して

シルバー人材センター奉仕作業に参加して、御鉾ヶ浦公園の草刈りがありましたが、今年は特に安全対策推進員の研修会での協議で安全パトロールの結果の末、安全標語及び川柳募集で皆様方の御協力により、その中から審査の結果表彰式がありまして御鉾ヶ浦会場では一段と雰囲気が高まり、かつてない奉仕作業になりました。全員の会員さん達が奉仕作業に出席されまして半日の作業ではありましたが、食事をしながらの会員さん達との交流もでき、誠に意義のある奉仕作業だったと思います。

今後とも皆様方の御協力をお願い致します。

副委員長 河野利秋

## 安全標語・川柳の入選発表!!

### 〔安全標語の部〕

椎葉 オキノ

「人生は無事故の花を咲かせたい」

高森 徳弥

「安全で今日があり 又明日がある」

那須 フジミ

「子供らにシルバーが示そう交通ルール」

岩切 安太郎

「社会の基礎 シルバーが主役なり」

### 〔川柳の部〕

村矢 光雄

「気をつけよう 世間の道と信号機」

安藤 稔

「助手席の妻がメーターをのぞきこみ(む)」

田村 広繁

「風邪貰い あとはお薬師様頼み」

寺原 典子

「ど忘れをボケのせいにはしたくない」

	実施重点事項	努力事項
1月	通勤途上の事故防止	①いそがず、あせらず、ゆとりをもって ②自転車荷台(ハンドル前)には重い物は乗せない
2月	転倒事故の防止	①屋内では通路上の障害物の有無の確認 ②階段の上り下りは急がずゆっくりと
3月	転落事故の防止	①脚立の安全確保 ②脚立の昇り降りには指差確認 ③無理な姿勢で作業しない